



sojitz
New way, New value

SOJITZ IR DAY

エネルギー・金属部門

2013年12月19日

双日株式会社
エネルギー・金属部門長
込山 雅弘



目次

- ◆ 部門概要
- ◆ 成長戦略
- ◆ 補足（主要事業）

将来情報に関するご注意

資料に記載されている業績見通しは、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、業績を確約するものではありません。実際の業績等は、内外主要市場の経済状況や為替相場の変動など様々な要因により大きく異なる可能性があります。重要な変更事象等が発生した場合は、適時開示等にてお知らせします。



部門概要





事業会社、海外拠点、人員など

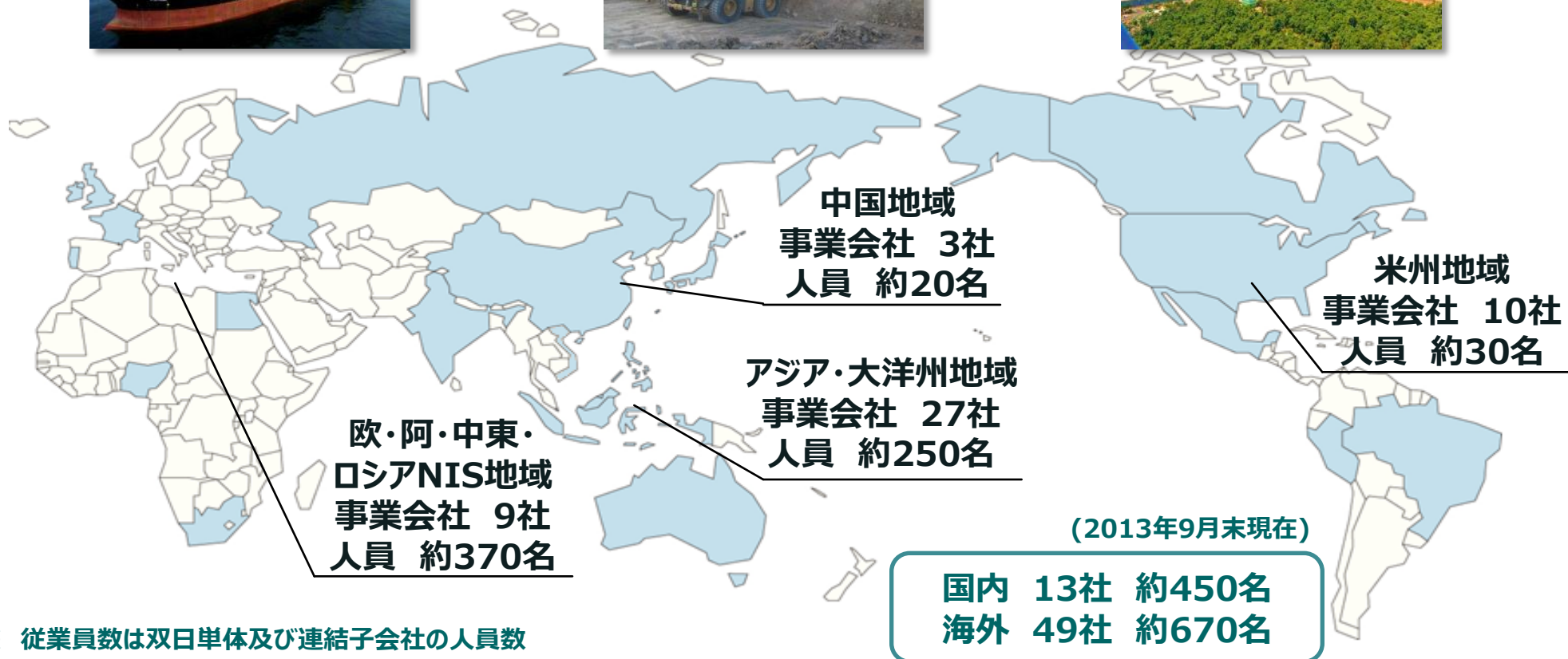
エネルギー本部



石炭・原子力本部



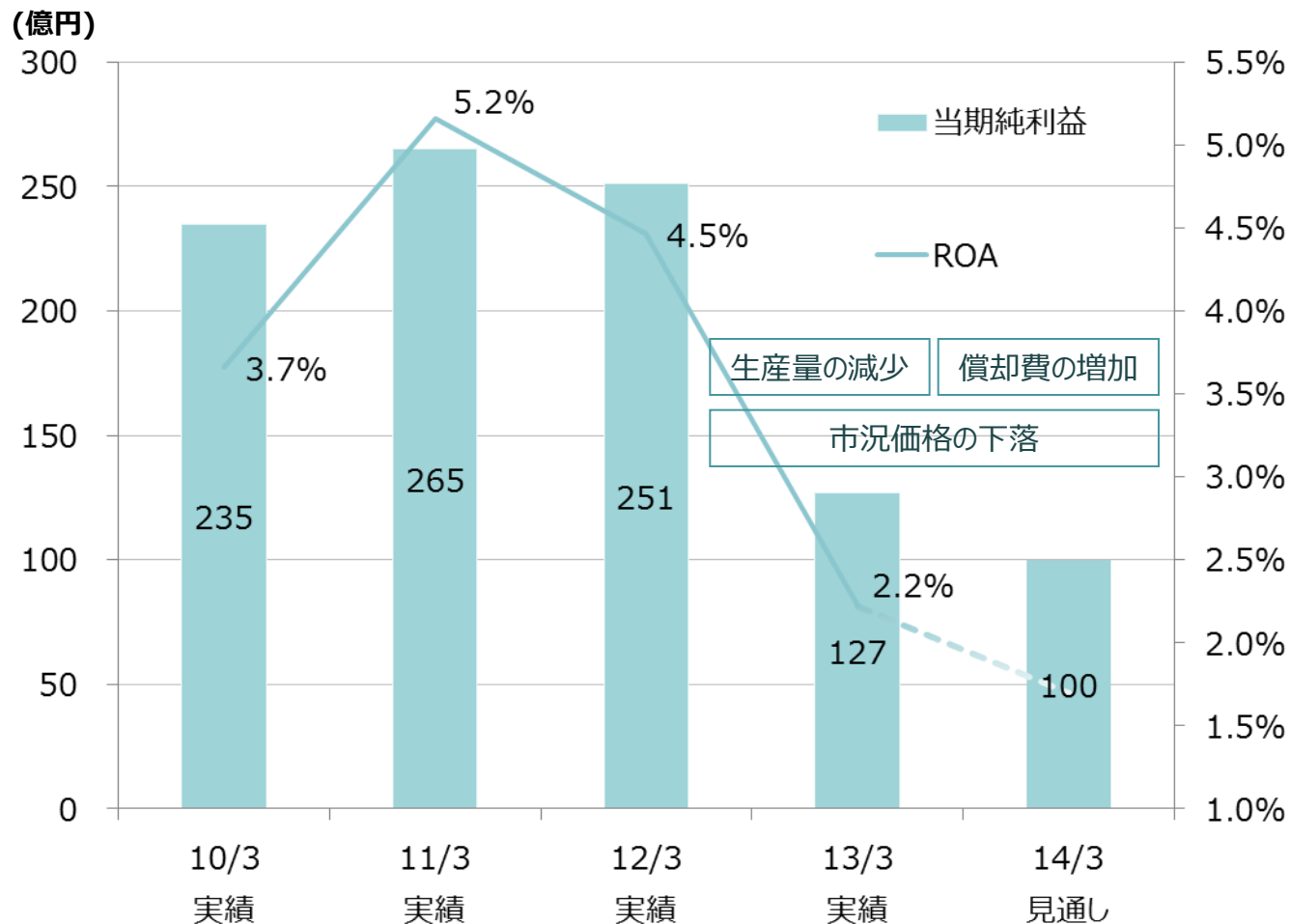
鉄鋼・金属資源本部



※ 従業員数は双日単体及び連結子会社の人員数



部門業績推移と今期見通し

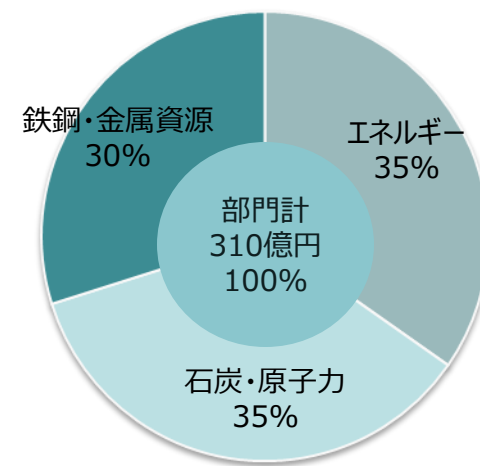


総資産	4,834	5,437	5,809	5,597
-----	-------	-------	-------	-------

JGAAP

IFRS

13/3期 売上総利益 本部別貢献度



※12/3期以降はIFRS、11/3期以前はJGAAPベース

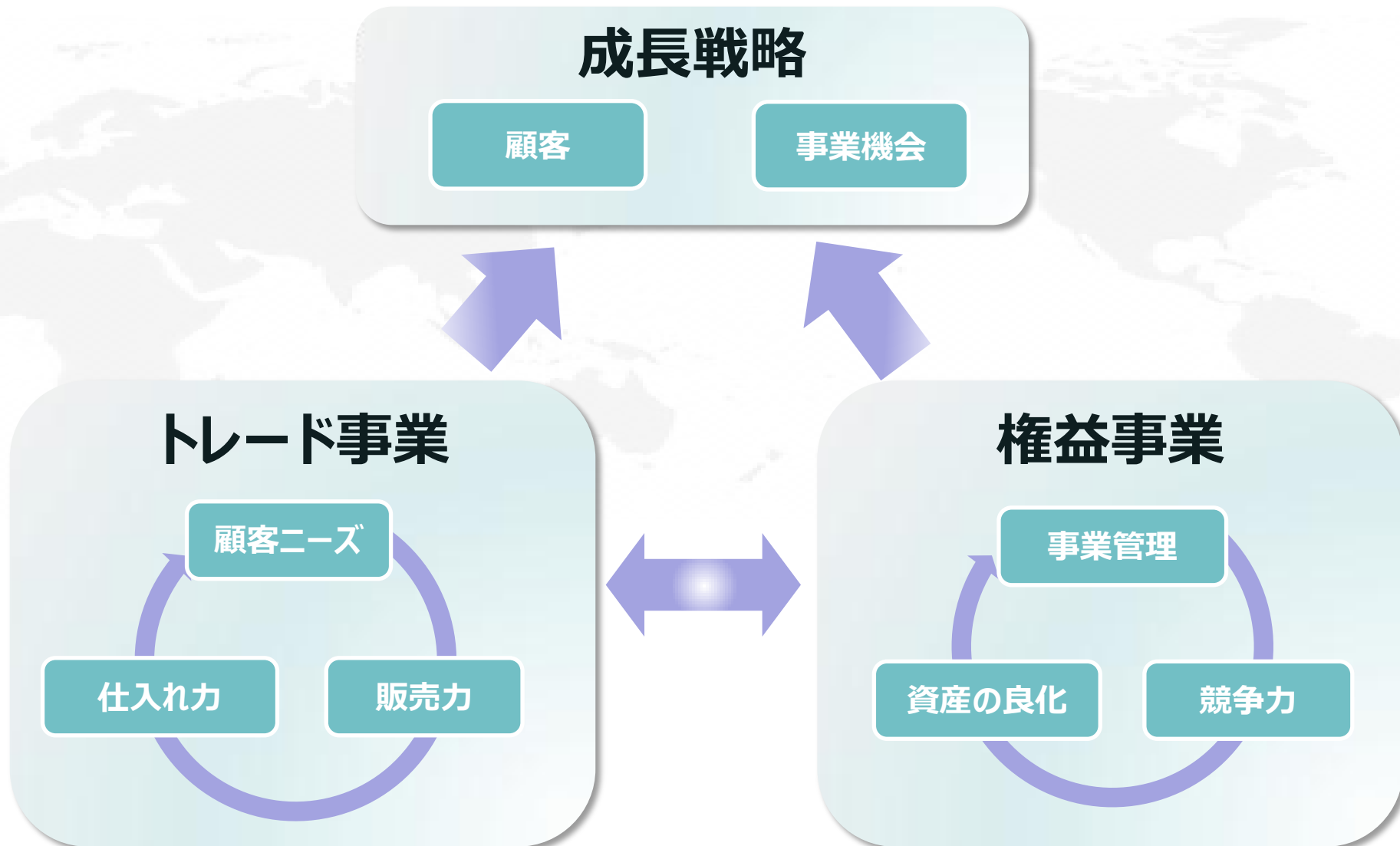


成長戦略





成長戦略 『権益とトレードの両輪』

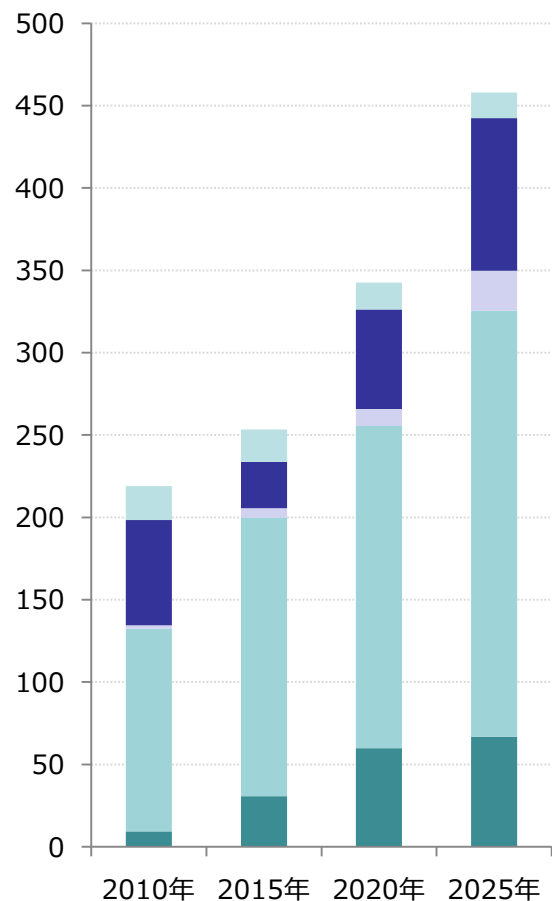




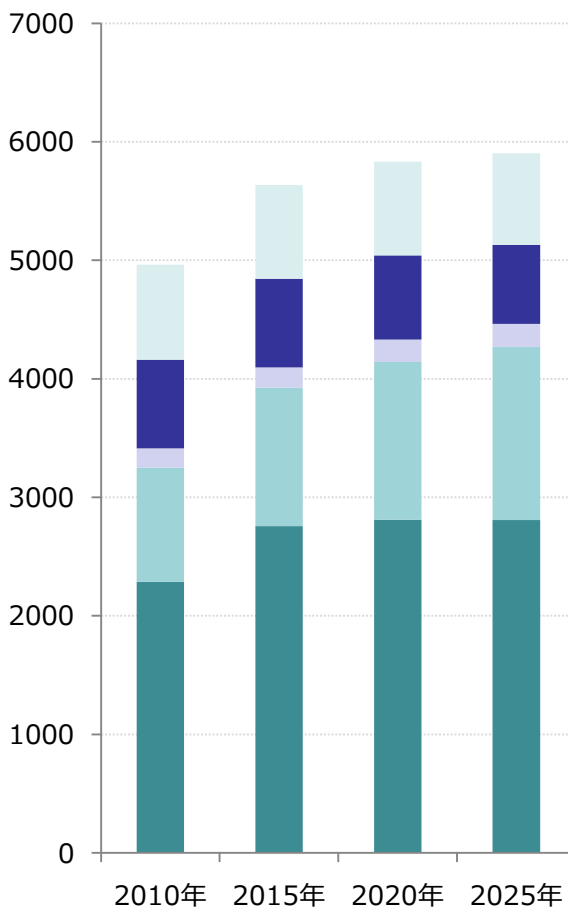
エネルギー・金属を取り巻く市場環境

エネルギー・金属の需要は今後も拡大

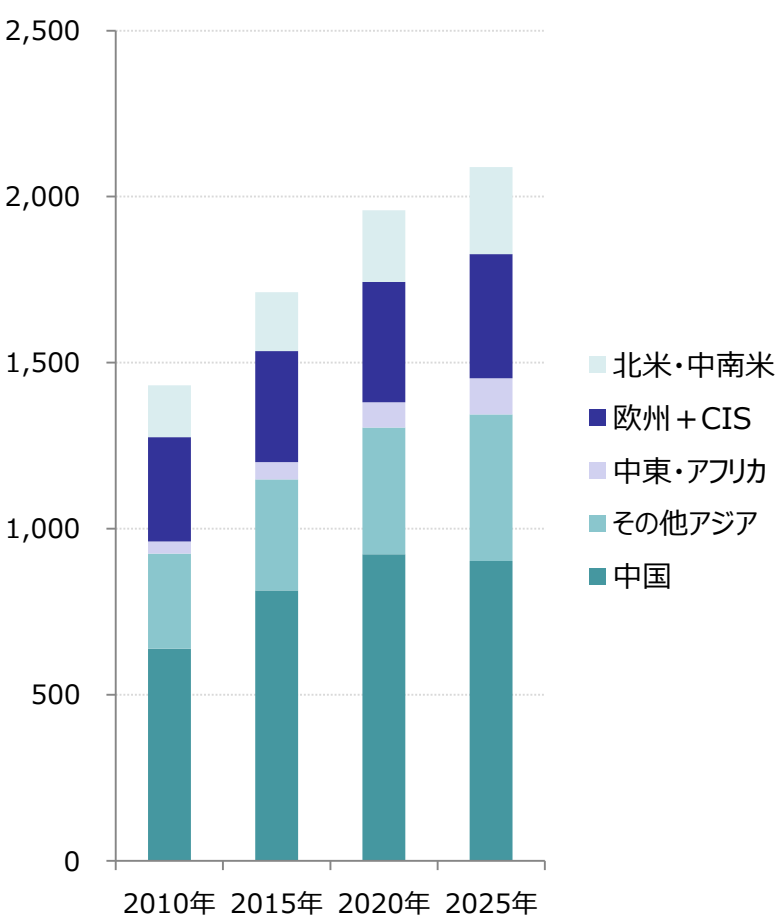
(百万ト) 世界LNG需要見通し



(百万ト) 世界石炭需要見通し



(百万ト) 粗鋼生産量見通し





石炭事業の進化

～上流（権益投資）と物流（トレード）の現状～

既存商流

持分権益数量

760万トン

物流取扱数量

2,200万トン

PT Bara Alam Utama

PT Berau Coal

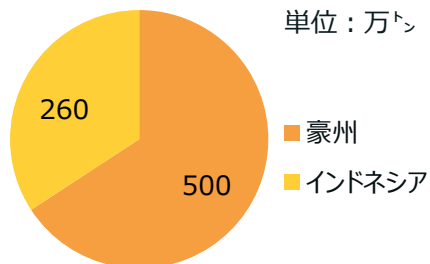
Lake Vermont Joint Venture

Jellinbah East Joint Venture

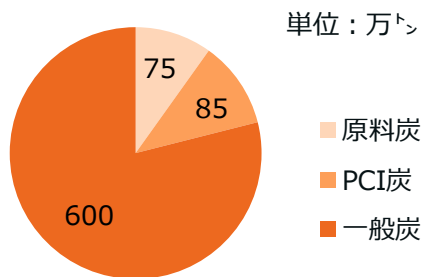
Minerva Joint Venture

Moolarben Joint Venture

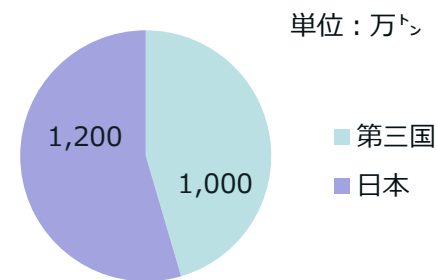
国別持分権益数量



炭種別持分権益数量



販売先別取扱数量





石炭事業の進化

～進化に向けた今後の取り組み～

上流 炭鉱投資・操業

ソース分散化：ロシア、モンゴル、北米等の開拓
炭種分散：原料炭権益の獲得
操業機能の拡大：豪州



中流 ロジスティックス

ベトナム、インドネシア、モンゴル等における
ロジスティックス事業への関与



下流 トレード

日本向けシェアの拡大
新規ソース開拓：モンゴル、ロシア、インドネシア
新規市場開拓：ベトナム・インド等アジア地区



持分権益数量

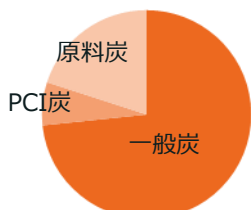
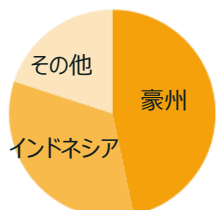
約1,500万ト



- モンゴル：中国内モンゴル在の石炭輸送会社へ出資
- ベトナム：石炭輸入インフラの検討
- インドネシア：輸送インフラへの参画検討

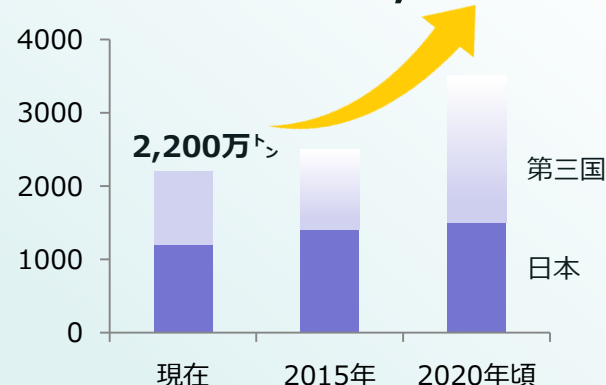
国別 (2020年頃)

炭種別 (2020年頃)



物流取扱数量

約3,500万ト





ガス事業の拡大

～双日グループのLNG権益・物流事業の現状～

LNG Japanとしての取り組み

▶ LNG出資権益（当社間接持分比率）

- «インドネシア» タンゲーLNG 760万ト/年 (@3.68%)
- «カタール» ラスガス1&2 660万ト/年 (@1.5%)

▶ LNG物流（LNG Japan取扱量の内、双日持分50%）

- «インドネシア» ボンタンLNG 日本向け285万ト/年



2001年設立
 双日50% / 住友商事50%
 資本金：80億円

2012年度～ 双日としての取り組み

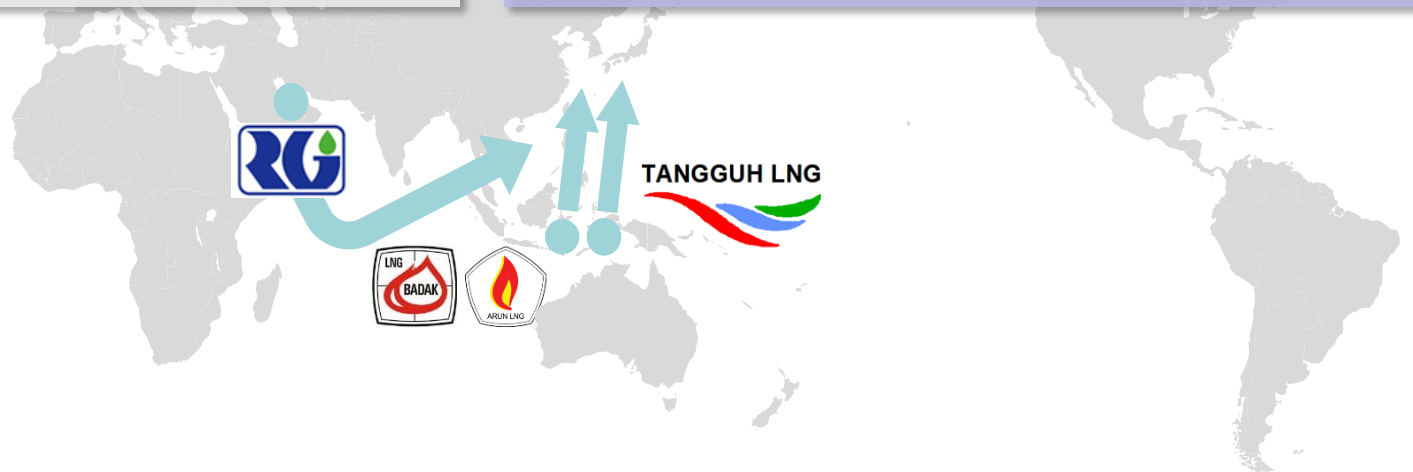
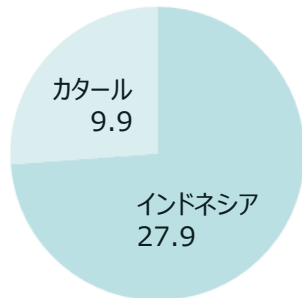
▶ 組織体制の整備

LNG Japanからの一部業務移管を伴う独自のLNG事業推進体制の構築 [2012年 LNG部創設]

▶ 双日独自のLNG事業推進の開始

- 西アフリカ、北米LNG案件開発
- LNGスポットトレーディング開始（複数の取引実績）

持分権益数量（万ト/年）



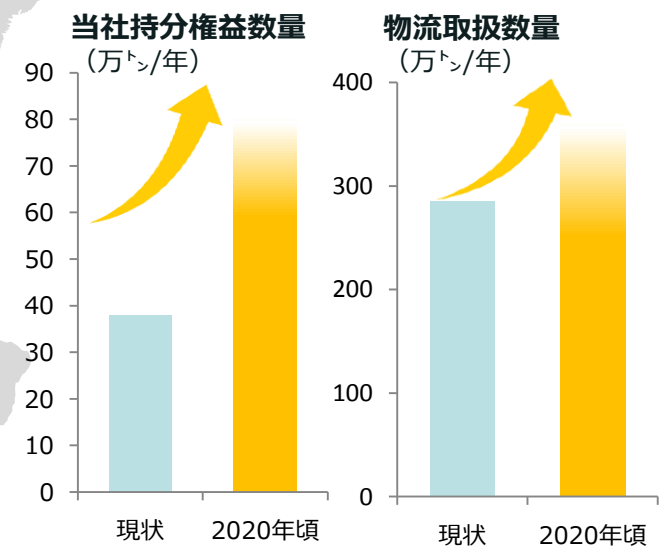
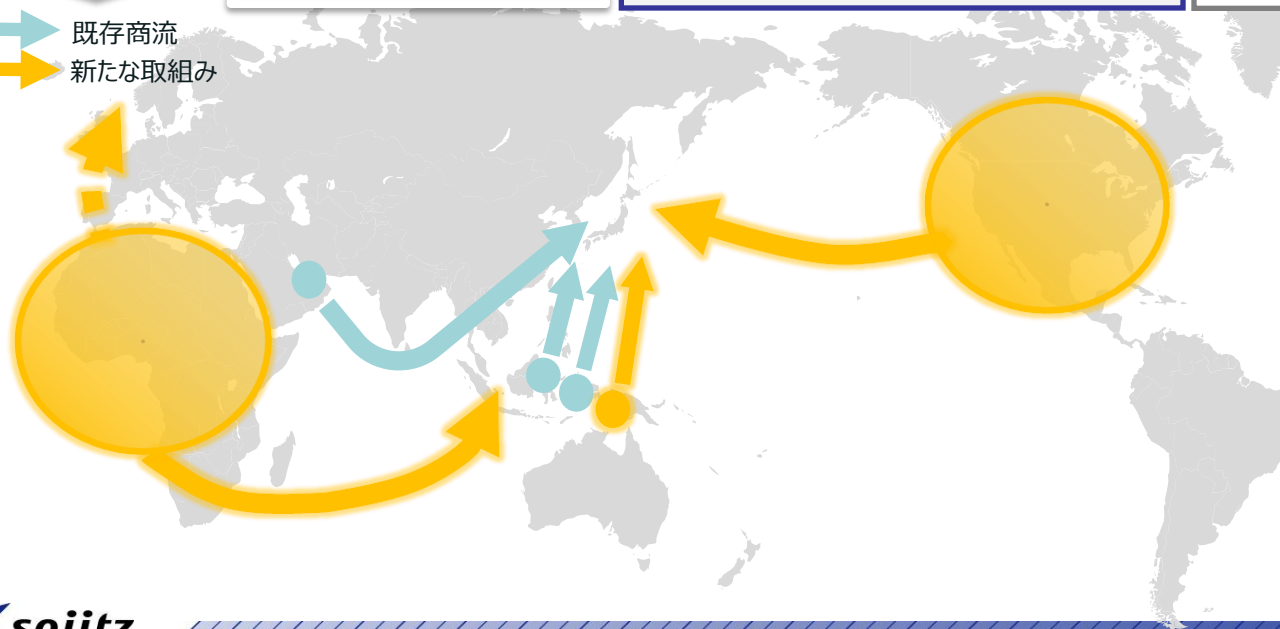


ガス事業の拡大

～双日グループの今後の取組み～

	市場のニーズ / 意義	双日の取組み
従来	① 長期安定供給 <ul style="list-style-type: none"> エネルギー安全保障 	<ul style="list-style-type: none"> インドネシア・タンゲラ増設プロジェクト (従来型のメジャー主導大型プロジェクト)
原発事故後	② 低価格 <ul style="list-style-type: none"> LNG調達コストの引き下げ 供給源の多様化 	<ul style="list-style-type: none"> 北米LNGプロジェクト+LNGトレード (原油価格リンク→北米ガス価格リンク) ガスバリューチェーンの構築
	③ 供給柔軟性 <ul style="list-style-type: none"> 原発再稼働やピーク需要への対応 (需給調整) 	<ul style="list-style-type: none"> 西アフリカLNGプロジェクト+LNGトレード (欧州/日本向け購入オプション)

 既存商流
 新たな取組み





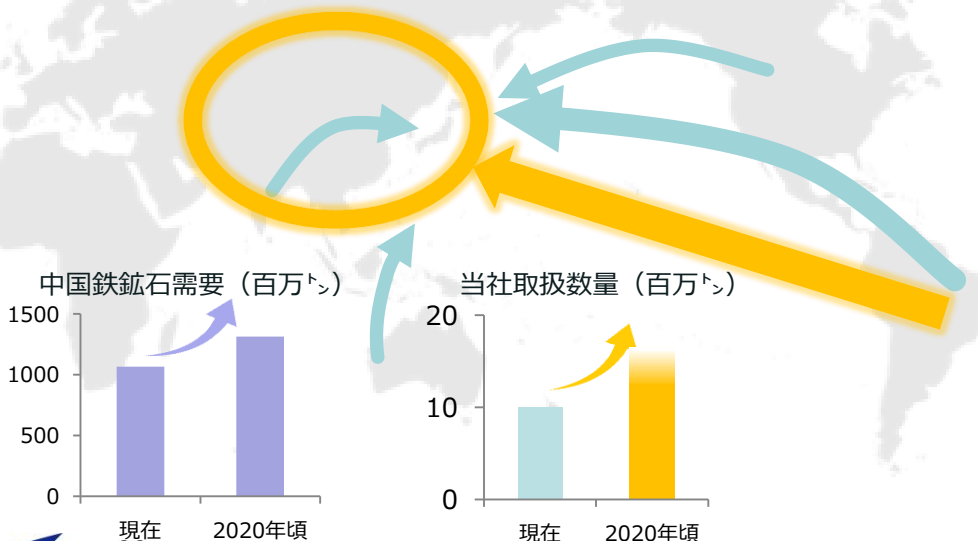
金属資源 『トレーディング強化』

鉄鉱石

『独自ソースの確保によりアジア向け販売を強化』

- ✓ 対日輸入では、従来からブラジル鉱を中心に強み。
- ✓ 開発に取り組む豪州鉄鉱山からの販売を推進。
- ✓ 2015年よりブラジル産の高品位鉄鉱石を中国向けを中心に販売予定。
- ✓ アジア向け販売強化の為、独自ソース開拓を推進。

→ 既存商流
→ ターゲット市場

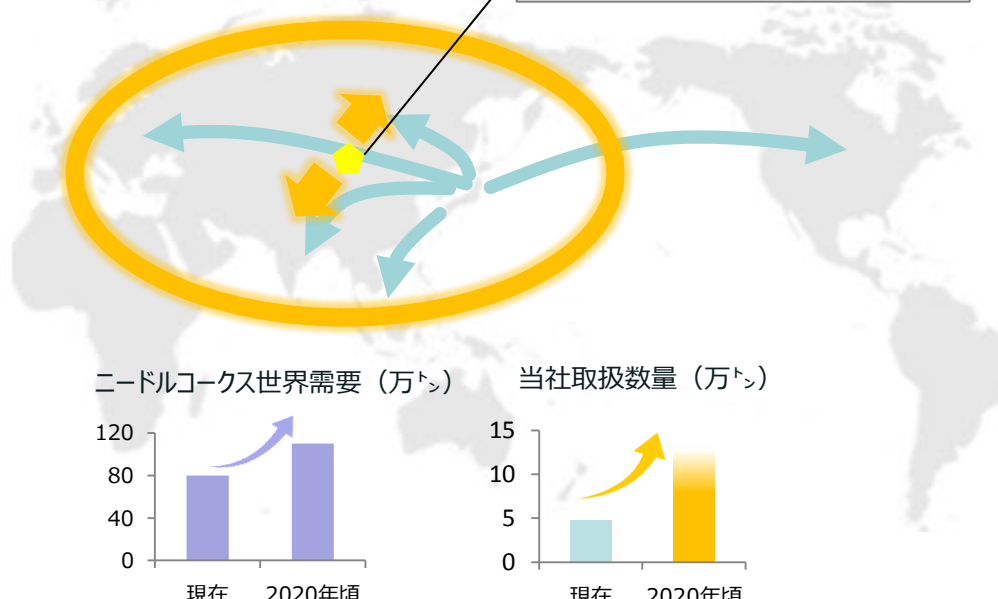


炭素材

『双日ジェクトを通じて炭素材の販売を強化』

- ✓ 双日ジェクトを通じて、多様な炭素製品の販売を展開。
- ✓ 欧米・中国・インドで電炉用電極原料 (ニードルコークス) を拡販。2013年に新日鉄住金化学グループと中国共同事業に出資参画し、現地生産・販売を更に拡大。

ニードルコークス製造事業への出資
(当社7%出資、2014年末生産開始予定)



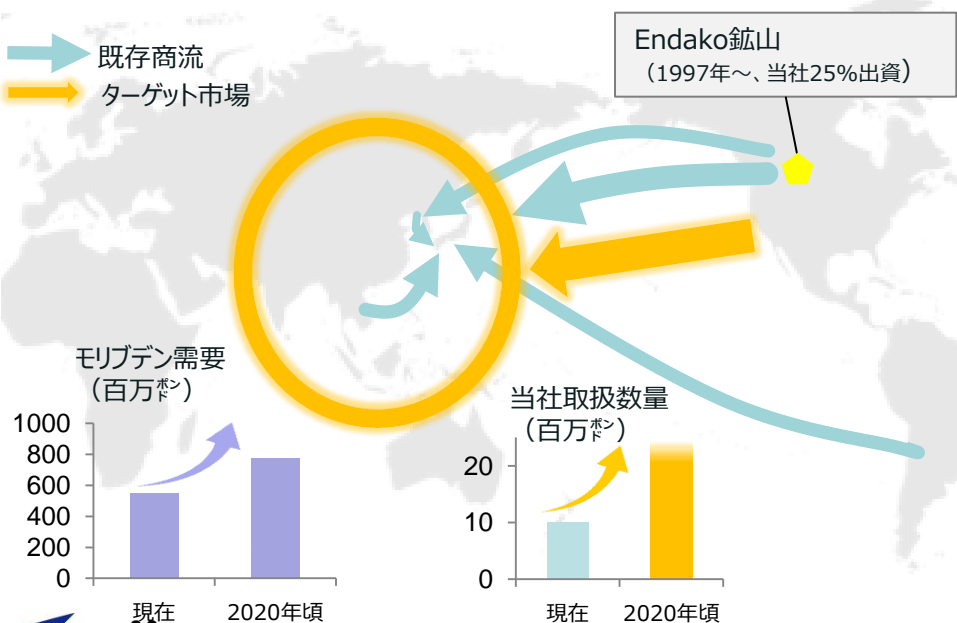


金属資源 『トレーディング強化』

モリブデン

『業界での高いプレゼンスを強みにアジアで販売を強化』

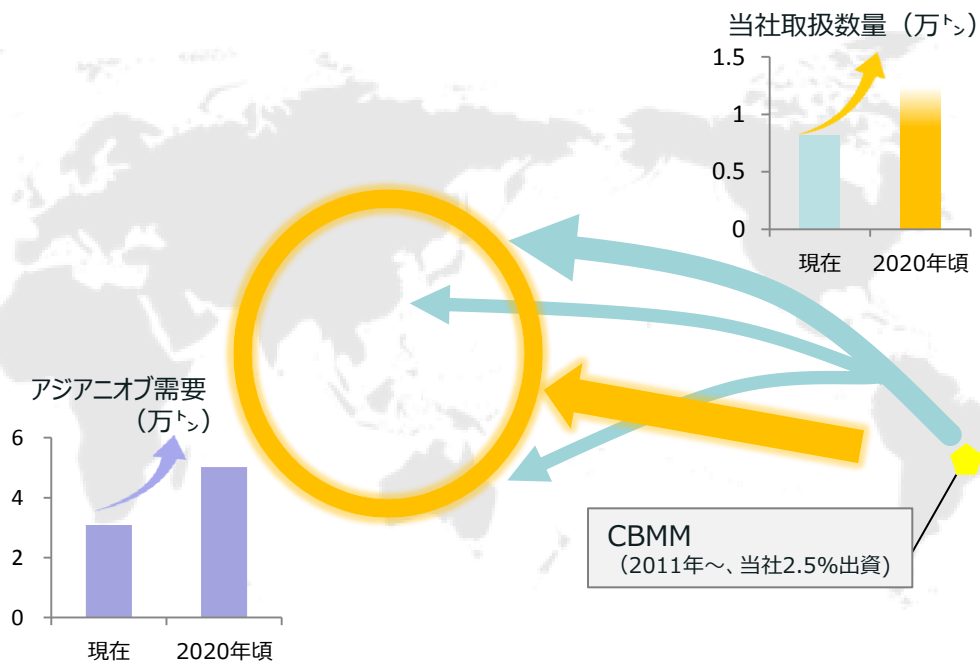
- ✓ カナダEndako鉱山権益を通じ、高品質なモリブデン鉱石を確保。
- ✓ 輸入シェア商社No.1。業界で高いプレゼンスを保持。
- ✓ 今後、当社独自のネットワークおよび業界での信用力をベースに、需要の伸びる韓国・中国・インド・東南アジアでの販売を強化。



ニオブ

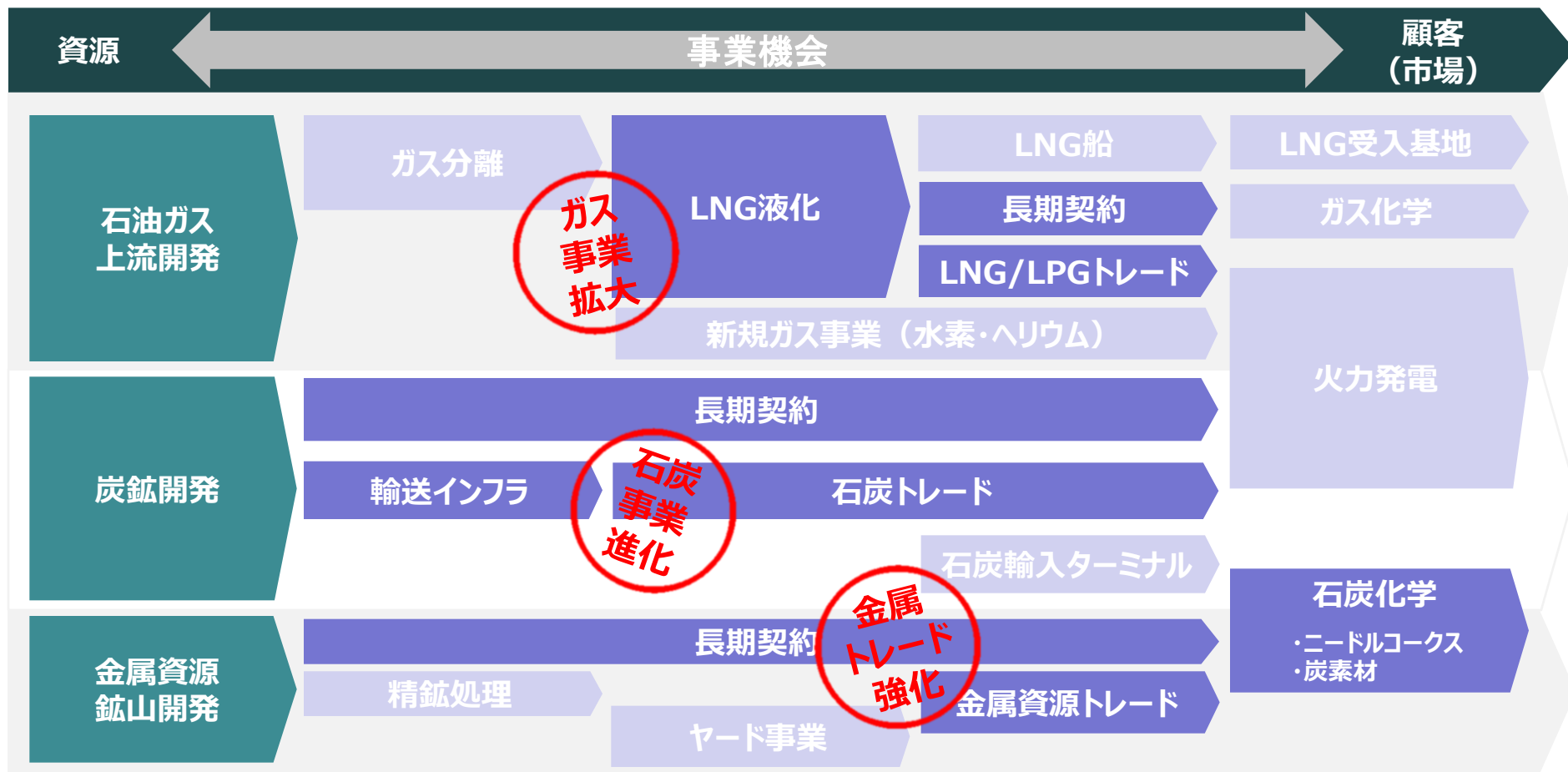
『CBMMとのパートナーシップを通じて販売を強化』

- ✓ ニオブの世界トッププロデューサーCBMMに日本需要家と共に投資。ニオブの対日安定供給体制を構築。
- ✓ アジア圏内の旺盛な鋼材需要を背景に、今後もニオブ需要は成長を続ける見通し。CBMMと連携し、日本に加えアジア新興国への販売を拡大。





エネルギー・金属部門の将来の絵姿



伸びゆくエネルギー・金属需要に対応し、顧客ニーズに沿って資源を供給するための事業機会を的確に捉え、最適なポートフォリオと安定収益基盤を拡充する。



補足情報





本部別 取組事業

エネルギー本部



インドネシア/Tangguh LNG基地



LNG船



ベトナム/CNG事業

石炭・原子力本部



豪州/Lake Vermont炭鉱



豪州/Minerva炭鉱



内モンゴル/中蒙煤炭有限公司の物流事業

鉄鋼・金属資源本部



ブラジル/CBMM社ニオブ鉱山



カナダ/Endakoモリブデン鉱山

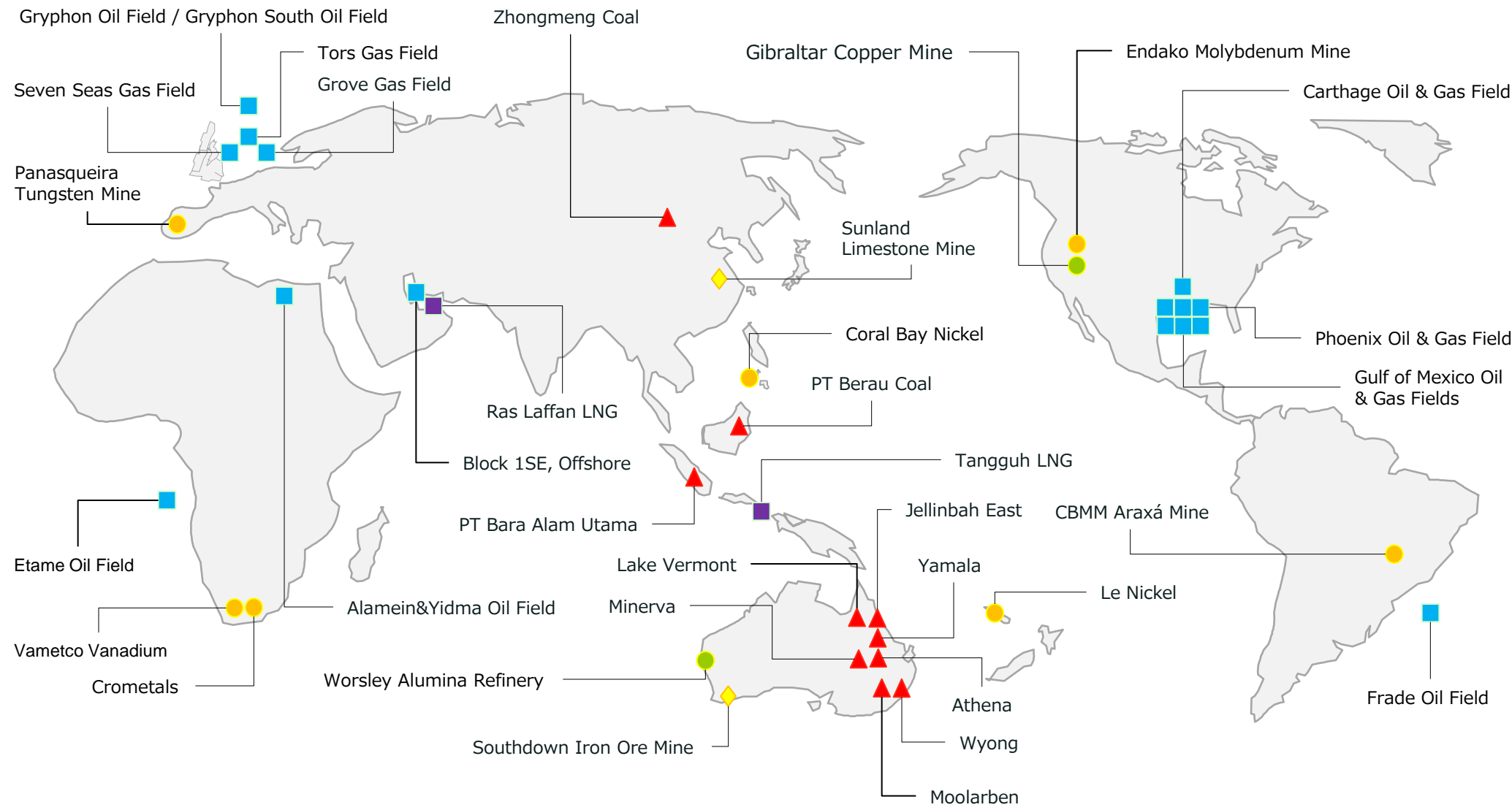


炭素材/(左)ニードルコークス(右)特殊炭素製品



主要資源事業MAP

- Oil & Gas
- LNG
- Coal
- Ferroalloys
- Non-Ferrous Metals
- Others





sojitz

New way, New value